

令和元年度武蔵野市バリアフリーネットワーク会議 議事要録

日 時 令和元年12月11日(水) 14時開会 16時30分閉会

場 所 武蔵野スイングホール スカイルーム

出席者 委員19名、事務局7名(説明者1名)

佐藤克志会長、稲垣具志副会長、山口和彦委員、福田暁子委員、小林宏委員、山下紀子委員、沢村哲志委員、與猶洋志委員(原清委員代理)、京尾淳一委員、藤井一郎委員、三宅信彦委員、鈴木章介委員、新井淳一委員、水沼敦彦委員、二瓶国利委員、大橋聡毅委員、吉清雅英委員、森安東光委員、早川千秋委員

議事等 1 開会

2 委員紹介、事務局紹介

3 議題

(1) 武蔵野市バリアフリー基本構想に基づく後期特定事業計画の進捗について

(2) 主要な特定事業実施箇所の現地確認

4 意見交換

5 今後の予定

1 開会

事務局より開会のあいさつを行った。

2 委員紹介、事務局紹介

発言者	要旨
会長	この武蔵野市のバリアフリーネットワーク会議については最初から関わっている。そのころからかなり環境が変わってきている。さらにブラッシュアップできればと思う。
副会長	専門である交通工学・土木工学という観点からバリアフリーを研究している。力になれるように頑張りたい。
委員	自立支援協議会の当事者部会から参加した。障害当事者として社会開発を専門とし大学の講師などをしている。視覚障害、聴覚障害、車椅子利用、呼吸器利用などの当事者である。よろしくをお願いします。
委員	視覚障害者協会から参加した。私は全盲だが、外を歩いていて気づいたのは白線が引かれているところは点字ブロックではなくてもわかるものだと思ってもいい目印になっている。よろしくをお願いします。
委員	老人クラブ連合会から参加した。今回初めてなのでよろしくお願いします。

委員	チェリーズから参加した。双子・三つ子支援についてニュースでも取り上げられているので、双子、三つ子家庭にご理解いただければと思う。
委員	東急百貨店でコンプライアンスなどを担当している。よろしくお願いします。
委員	武蔵野警察署交通課から参加した。よろしくお願いします。
委員	JR 東日本から参加した。本日は代理となる。よろしくお願いします。
委員	西武鉄道から参加した。よろしくお願いします。
委員	京王電鉄から参加した。よろしくお願いします。
委員	小田急バスから参加した。よろしくお願いします。
委員	関東バスから参加した。よろしくお願いします。
委員	西武バスから参加した。よろしくお願いします。
委員	東京都北多摩南部建設事務所から参加した。都道の管理をしている。よろしくお願いします。
委員	多摩の都立公園を管理している東京都西部公園緑地事務所より参加した。よろしくお願いします。
委員	武蔵野市の財務部長をしている。よろしくお願いします。
委員	武蔵野市の健康福祉部長をしている。福祉全般を担当している。よろしくお願いします。
委員	武蔵野市の都市整備部長をしている。日頃、都市行政にご理解ご協力いただき感謝する。本日はバリアフリーという視点で、様々なご意見をいただければと思うのでよろしくお願いします。

3 議題

(1) 武蔵野市バリアフリー基本構想に基づく後期特定事業計画の進捗について

発言者	要旨
事務局	資料2 武蔵野市バリアフリー基本構想の進捗について説明

(2) 主要な特定事業実施箇所の現地確認

発言者	要旨
事務局	資料3 主要な特定事業実施箇所の現地確認 ～まち歩き～ について説明

<現地確認へ出発>

- ・武蔵境駅南口駅前広場におけるバリアフリー化の状況について現地確認を行った。
 - ① 福祉車両優先スペース
 - ② 総合案内板
 - ③ バスの正着（バス停形状の改善）
 - ④ スムース横断歩道
 - ⑤ スロープ
 - ⑥ 照明
 - ⑦ 視覚障害者誘導用ブロック
 - ⑧ 歩道舗装

4 意見交換

(1) 令和 2 年度に目標年次を迎える基本構想の評価

発言者	要旨
会長	進捗状況の報告と現地確認を受けて意見交換をしたい。
委員	<p>視察で案内板と各乗り場で色分けを使ったバスの案内があったが、案内板右下にある乗り場位置案内図の色使いと一致していなかったので混乱すると感じた。タクシー乗り場のスロープは乗り場の後方にあったが、乗りたいタクシーの来る順番、位置によっては利用しにくい配置だと感じた。</p> <p>市政センターにベビーベッドや授乳室が設置され、コミュニティセンターにエレベーターが整備されるなどありがたいと感じている。緑町コミュニティセンターにエレベーターが設置されると紹介されたが、ツインのベビーカーでは横幅が足りず、前後のベビーカーで乗ると人が乗れないなど、双子の利用者では利用できないという意見も聞いている。</p>
委員	<p>武蔵境駅南口駅前広場は整備されて歩きやすくなったと感じた。材質によるが、誘導用ブロックは雨の時滑りやすいことがある。整備に当たっては材質に留意してほしい。エスコートゾーンは吉祥寺駅前で最初に整備された。武蔵境駅周辺でも設置してほしい。今後は維持管理が課題となると思うが、総合案内板の音声案内ボタンが一つ外れていた。</p>
委員	<p>武蔵境駅南口駅前広場の整備は素晴らしいと思う。北口の誘導用ブロックは視認できないが、南口は自分で視認することができる。案内板は総合案内板より、右のバス案内図の方が見やすい。盤面の反射の問題がある。バスに乗りやすくなったという意見は車椅子利用者からも聞いている。タクシーはスロープから乗れるようになってうれしい。</p> <p>A タクシーは私の車椅子で乗ろうとすると乗車拒否が多く、乗るまでに慣れてない人では 20 分くらいかかることもある。スムーズに乗れる NV200 もこの地域では走っている。前が詰まっていると、前のタクシーに事情を説明してどいてもらう必要がある。ドライバーに空いている乗降場に行ってもらって自分で移動することがある。ハード面だけで解決できない問題もある。</p> <p>未着手事業で、なごみの家のスロープがあるが、移転しているはずなのでその後どうなっているのか確認したほうがいい。</p> <p>京王ストアはスギ薬局になっているので今後の進捗管理をどうするのか確認したほうがいい。</p> <p>B 店はよく使う。少し前まではエレベーターを使えたが、今は使えなくなり、2 階に行けなくなったので、商品を降ろしてきてもらって選ぶということになった。業務用エレベーターにお客様を乗せないという通達が出たとのことであった。階段を上るのが難しい方もいる。エレベーターを設置してほしい。</p> <p>中央図書館のエレベーターの鏡の改修についてあったが、エレベーター自体が古いのでそのものを改善したほうが良い。</p>

トイレの改修が進んでいるが、手すりと壁の色が白いところとそうでないものがある。中央コミュニティセンターのトイレは全体的に真っ白でどこに何があるかわからず怖い。写真5のように手すりが濃い色だとわかりやすい。

資料とは関係ないが、三鷹駅から中町方面に帰宅する際、どのルートを通っても喫煙所があり、煙を浴びてしまうのが負担に感じる。武蔵野警察署の角は喫煙者が多い。C店の前も喫煙者が多い。そこを避けると大きく迂回する必要がある。新しく喫煙に関するルールができると聞いたことがあるが勉強不足なので教えてほしい。

最近イヤホンで聞きながら歩いている人が多く、車椅子に気づいてもらえない。中央図書館前、文化会館前の五日市街道の大きな交差点を利用していた際、自転車が入ってきて、接触しそうになったことが2回くらいある。植え込み、ガードレールなどがなく、車止めが2本しかなく、車が突っ込んでくる事件があると、バス停もあり歩行者が多くたまっている場所なので被害が出るのではないかと懸念する。

事務局

なごみの家については今年5月にわくらす武蔵野に事業移転している。中央図書館エレベーターの鏡については検討中と聞いている。

事務局

武蔵境のタクシー乗り場のスロープについて、運用面での改善について、公共交通の会議などでも話題に出して検討したい。

案内板は設置したところだが早速壊れていた。修繕したい。色についても合わせていきたい。反射について、夜はLEDが入っていて照らすようになっている。そのために昼は逆に反射してしまう状況があるかもしれない。改善についても検討していきたい。

委員

屋外の喫煙所について、現在屋外の喫煙については規制がない。私有地内の喫煙所であり改善されていない。三鷹駅前で喫煙している人については年内に何らかの対応をしたい。

なごみの家で市事業として実施していたショートステイはわくらすに移行した。その後の施設活用については今後検討する。用途に合わせて手すりの設置を検討したい。

委員

喫煙所について、今後三鷹駅北口の駐輪場そばにはコンテナ型喫煙所を設置するため、そちらに誘導したい。エレベーター設置については、所管と調整するが、コミュニティセンターなど既存施設に設置する場合、設置によってほかの部屋が狭くなるため、コミュニティセンターと調整して設置している。増築している場所もあるが、建築基準法の関連で限界がある場合もある。二人乗りベビーカー利用について検討されたかどうかはわからないが、今後の整備に当たっては話をしていきたい。トイレのコントラストについて、白一色が良くないという意識まであったかは分からない。部屋内のコントラストの必要性についても話をしていきたい。

事務局

誘導用ブロックのすべりやすさについて、武蔵境駅南口駅前広場の誘導用プロ

<p>会長 事務局</p>	<p>ックは透水性で、表面に水がたまりにくいものを採用している。歩道の舗装も透水性のブロックを設置した。透水性でないものに比べれば滑りにくいと考えている。</p>
<p>会長</p>	<p>エスコートゾーンについてはどうでしょうか。 エスコートゾーンは警察の所管で設置している。設置できるかどうかは警察と協議していきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>基本構想見直しの中で位置付けられることがあれば積極的に検討いただきたい。 警視庁本部とも相談しながら検討したい。自転車についての意見があったが、自転車利用マナー啓発は武蔵野市の重要な課題と認識している。交通事故の半数は自転車に関与する事故であり、警察としては、悪質な自転車に赤切符を切っており、今年で20件弱である。切符を切らない程度の、傘さし運転などについても、警告カードを配布している。市役所と連携し、学校や講習会で安全教育を働きかけている。今後も継続的に実施していきたい。</p>
<p>会長 委員</p>	<p>各事業者から補足があれば発言いただきたい。 南口改修に際しては、当社と市で協力しながら実施した。ガードパイプを歩道側に寄せているのは、バスが発車する際の尻振り（オーバーハング）による接触防止策である。スペースがあるために人が入りやすくなっている懸念もあるが、今のところ事故につながる事例の報告はない。どうしても上屋が歩道に引っ込んでいたために乗降時に濡れる。上屋の高さを上げると費用がかさむなど問題もある。全ての人に満足となるのは難しいが、最大公約数を目指して今後も検討したい。</p>
<p>会長</p>	<p>北口でも正着を意識したバス停づくりをしていたが、南口ではスパイラルアップした形で実現できているという印象を持った。今回の視察を受けたコメントも次に参考としてほしい。</p>
<p>副会長</p>	<p>バリアフリー基本構想のこれまでの流れは、法律の趣旨に基づき、配慮が必要な人の移動を円滑にするためのハード整備が基本であり、頑張っってハード整備を進めてきたところであると思う。 各地でのバリアフリーの取組み状況を見てきているが、武蔵野市ではコストも投入し、都内でも先駆的に取組みを進めていることは高く評価できる。また、最近では特に当事者参加が進んできている。今回も団体ヒアリングを実施するなど、今日確認した駅前広場整備にあたっては道路課で当事者の意見を取り入れて整備している。 全国的にバリアフリー基本構想の議論が発散しかけている。対象となる当事者の種類が増えており、知的・精神・発達障害への配慮も求められる。同じ子育てであっても双子の代表が来られているのは特徴的である。似たような悩みでも細かく突き詰めると多様性がある。議論が成熟して来ると、きめ細かな対応が求められる。みんなにとっての満点が作れない中で、いかに運用側でハードを補足</p>

<p>会長</p>	<p>するのか、今後考えていかないといけない。</p> <p>TOKYO2020 オリンピック・パラリンピックが近づいてきており、アクセシビリティという言葉が使われるようになってきた。アクセスというのは交通アクセスだけでなく、情報へのアクセスなど移動に必要なことで、移動が達成できるかということが課題であり、バスに乗れない、タクシーに乗れないというのは正着の確保の問題になる。それを第一に優先して考えないといけない。そこで 100 点の満足にならない人にとってのユーザビリティの確保を考えないといけない。多様な人に対してアクセスできる環境を整え、最大公約数としてのユーザビリティを高めることを次に考える。多様な人の最高得点を高めるための優先順位をどう考えるか、金銭、人的にも限界がある中で考えていく必要がある。</p> <p>障害の社会モデルが言われ始めている。個人モデルはディスアビリティピープル、できない人、という考え方である。点字を読む訓練や歩行訓練も必要だが、社会側のバリアを取り除く責務があるというのが社会モデルである。個人モデルと社会モデルの両立を理解するための接遇教育が重要である。どのような対応をするかというマニュアル化も重要だが、実践の際に社会モデルの考え方をいかに理解して臨んでいるかが重要である。その理解が心のバリアフリーにつながる。自分は交通工学の専門だが、他者への無関心が最大の課題だと感じている。いかに他人に対しての関心を高めるのか、交通事業者だけでなく、一般市民にも求められている。</p> <p>事業者の接遇、啓発、教育部隊がいかに頑張るかにもかかっている。都市整備部の取り組みではないかもしれないが、他施策との連携も重要である。</p> <p>考えないといけないことはまだまだある。現行の基本構想が目標年次を迎えるにあたって、その後をどう考えるのか、皆様から意見をいただきながら進めていきたいということですので、現在の状況について市より報告いただきたい。</p>
-----------	--

(2) バリアフリー基本構想改定に向けたヒアリング

発言者	要旨
<p>事務局 会長</p>	<p>資料4 バリアフリー基本構想改定に向けたヒアリングの説明。</p> <p>今後ヒアリングの内容を含めて改めて意見をいただきたい。非常に多岐にわたる意見をいただいている。個別課題から、根本的な問題まで指摘されている。私なりの視点から4点整理した。</p> <p>1点目、ハードでの対応と人による支援の関係、例えば視覚障害者の誘導について点字ブロック等のハードでの対応とそれが難しい所では人的介助で対応することをどう考えるか。人的対応が不十分であるのなら、研修の充実などが必要になる。</p> <p>2点目、視覚障害者への情報提供に対しては適切な音声情報、聴覚障害者には視覚の適切な情報提供がこれまで以上に求められる中で、今後は情報技術の活用で対応することが考えられる。しかし、情報機器のみになると、それが使えない</p>

という人もいる。どう対応するかが課題となる。

3点目、古くからの問題だが、視覚障害者と車椅子使用者の求める横断歩道部の段差のあり方の違いについての意見が出ている。市として方針があるようだが、その方針を継続してよいのかどうか、今一度議論する必要があるのではないかと。4点目、計画段階からの当事者参加は以前から言われていたが、TOKYO2020 オリンピック・パラリンピックにあたり様々な活動が実践された。それにより当事者もいろんな経験を積んでいるので、市の関連施設でも参加を望む声が増えてくる。すべてで実践するのは難しいが、どういうプロジェクトで当事者参加を実践するのかという方針が求められる。

ヒアリング意見をざっと見たところから感じたことを述べたが、ヒアリングを受けた人もいると思うので、気づいたことがある人は発言いただきたい。個人モデル・医療モデルか社会モデル化という話があったが、最近では権利モデルという考え方も出ている。

羽田空港でタクシーに乗ろうとして対応が適切でない時に権利擁護センターにクレームがいった、対応されるようになったということもあったようだ。障害者権利条約、障害者差別解消法ができたことも踏まえて、アクセシビリティやユニバーサルデザインを考えていかなければならない。同時に、ヴィジタビリティ、武蔵野市を訪れたときの訪れやすさの概念が必要になってくると思う。ヒアリングの内容から思ったことは、国際交流協会が含まれていない。多言語表示対応の言語や使い勝手は適切か。日本語の文化で生活していない、宗教の違い、生活文化の違いを考慮するのが先を見据えたバリアフリーではないか。安心して食べられる店、お祈りするスペースなど。海外出張時、大きな駅などでは祈るためのスペースがある。パニックを起こした人が一旦落ち着くためのスペースがあるところもある。

案内が聞きにくい場所ではヒアリンググループの設置の表示がはっきりしているところもあるが、日本では見られない。将来像を語るとしたら今後の課題となると考えられる。

喫煙については、田町駅の前のように植え込みやアクリル板などがあるだけで違うので、市から働きかけていただくと、私有地内でも大きな負担ではなく対応ができるのではないかと。あまりに歩道が近く、歩道の利用者が多い状況であり、配慮いただけると助かる。

視覚障害者が一番困っているのはトイレである。ペーパーの位置や流し方が統一されておらずわからない。代々木公園はどこも内部構造やボタンが同じ配置になっている。武蔵野市でも井の頭公園をはじめ公園が多くあるため対応してほしい。また、障害が多様化している。LGBT や性に関する悩みも聞いている。トイレの改善は今後の課題と思っている。

トイレのボタン配置は統一ルールが定められており、現在は普及の過渡期だと思う。ペーパーホルダーの上に「流す」があり、奥に「緊急ボタン」がある。車

委員

委員

会長

委員

椅子トイレを中心に普及しているが、今後は一般トイレにも普及すると思われる。

子育て当事者からよく挙げた意見としては、移動が大変ということ。バス、タクシー、電車の移動のそれぞれで難しさが指摘された。ハード面では武蔵境、吉祥寺南町地域から市役所・保健センターへのバスがないという意見が多かった。路線が再開することはないという説明も聞いているが、マンションができて子育て世代の住民も増えている中で、改めて検討してほしいと思う。

多様性という話も出ているが、子育て世代として参加しているが、双子はやはり大変、支援が必要な存在であると改めて感じている。子育てとひとくくりにしても家庭事情、それぞれで感じるものが違う。

ハード面の改善も必要だが、心のバリアフリーという面でも今後、いろんな人に協力してほしい。

ツインベビーカーでのバスへの乗車拒否の問題は意見として多く出ている。私たちが迷惑をかけることに対して配慮している。乗務員の方には乗れない理由を説明していただくことや、接遇面を改善してもらえると、私たちもあきらめずに移動できる。断られて嫌な思いをたくさんしている。周りの人の声にたくさん助けられている。子育て世代は迷惑をかけないようにしようとするあまり孤立している。がんばってね、大変だね、と声をかけられることで次頑張ろうと思える。地域とつながりたいけど、難しいと感じている人は多い。

委員

バスのルート改善の要望は承知している。以前は境から市役所へのルートがあったが採算性の面から廃止された。ムーバスの拡大の意見もある。公共交通の会議でも検討していく。子どもプランの策定もしており、担当部署で子育て支援も検討している。

委員

高齢者のヒアリングについて聞いてきた。寄合はコミュニティセンターが一番身近な施設である。多くの市民にとって重要な施設であり、会場が取り合いになる。数か月先の行事の会場取りのために午前3時から並んでいる、3時半に次の人が来たという話を聞いている。障害者や子育て世代はそんな時間に並ぶことはできない。コミュニティセンターは自治三原則として各コミュニティセンターでそれぞれルールを決めている。先着順で本当がいいのか。開館時間でじゃんけんや話し合いをしたほうがいいのか。そういう状況があることは話しておきたい。

会長

担当部局にもお伝えいただきたい。

副会長

コミュニティセンターは今後基本構想を考える際に、駅周辺以外でも高齢者・障害者が必要とする施設、担保するアクセス道路はどこなのかという点から、次に重点的に検討すべき点を考えてほしい。

情報提供について、国土交通省で触知案内図をどうしていくかという議論がある。要らないのか、使えないから使われていないのか。いろんな意見が出されているが、共通見解として、事前の情報提供に問題があるという指摘がある。いか

<p>会長</p>	<p>に事前にホームページなどで情報提供できるか、これを実現するには別部署との連携が必要である。事前の情報提供が十分であれば、現地では過剰な情報提供は要らない。サインももっとシンプルにできるかもしれない。ずっと音声聞く必要もないかもしれない。市でも力を入れて検討してほしい。</p> <p>これまでの取組に対し、社会の変化も含めポジティブな意見も多くみられた。これまでの取組の方向性は大きく間違っていないということだと思う。エリアや整備の充実度については、個別意見を含め指摘があった。面的にバリアフリー、ユニバーサルデザインを進めていくためには、生活に根差したバリアフリー整備を進めていくかが改定の視点として必要である。</p>
-----------	--

5 今後の予定

<p>発言者</p>	<p>要旨</p>
<p>事務局</p>	<p>現在の検討状況、今後の予定について説明</p>